



伊万里市男女協働参画懇話会 いまりプラザ  
子どもと一緒にワーク・ライフ・バランス

私は数年前から、市男女協働参画懇話会いまりプラザ委員として、男女協働参画を推進するための学習会や啓発活動に参加しています。最近、学習会などに参加すると『ワーク・ライフ・バランス』という言葉をよく聞きますが、皆さんはその意味を知っていますか。ワーク・ライフ・バランスとは、『仕事と生活の調和』という意味で、働くすべての人が、

仕事とそれ以外の生活（育児介護、地域活動など）の両方を充実させる働き方、生き方のことをいいます。

私は中・高生の母親で、仕事もしています。仕事に追われる毎日ですが、仕事以外に地域活動にも積極的に参加しています。時間のやりくりは大変ですが、地域活動などに参加することで、心身のリフレッシュができ、仲間もでき

とても楽しいです。

そんな私を見て、子どもたちも地域活動やボランティア活動に参加するようになりました。子どもたちは、地域の人たちとも親しくなり、学校では体験できないようなさまざまな体験を通して責任感を持って行動できるようになってきました。地域の方々には本当に感謝しています。

これから、ワーク・ライフ・バランスの考えが浸透し、誰もが、仕事と家庭や地域活動の両方を充実させ、自分らしく生きることができる社会になってほしいと思います。

人気料理研究家『コウケンテツさん』が講演  
男女共同参画週間記念フォーラムを開催

6月18日、市民センターで『男女共同参画週間記念フォーラム』がありました。料理研究家のコウケンテツさんを講師に迎え、『キッチンからはじまる家族の絆』と題して講演。

『この世で一番大切なのは食べる』と両親から教えられた育ったコウさんは、『家族そろって食卓を囲むこと』を最も大切に家事・育児を実践しています。料理は五感をすべて使うため、脳が活性化し子どもの成長にも役に立つとの考えから、食育を取り入れた親子の料理教室を主宰。また、経済の活性化には女性の活躍が必要で、そのために男性の積極的な家事・育児参画が必要と訴えました。家事分担を實踐する自身の写真の紹介や、冗談を交えた育児の体験談なども語り、会場は和やかな雰囲気にも包まれていました。



↑講演後に男性の家事について山口祥義知事（左）、塚部芳和市長（右）と意見を交わすコウさん（左から2人目）

郷土の文化財

腰岳と黒曜石シリーズ⑤

● 問合先 生涯学習課文化財係  
( ☎ 33186 )

腰岳を見直す、腰岳の新たな評価

前回までのこのシリーズで、市民にとっては見慣れた黒曜石（烏ん枕）とそれを産出する腰岳が、歴史的な目で見ると、ほかの地域では見られない特異なものであることを紹介しました。腰岳の黒曜石の学術調査は、1961年（昭和36年）に明治大学の考古学研究室によって、初めて行われました。その後、数回の調査が行われ、考古学の世界では腰岳の重要性が知られるようになりました。しかし、その中心は調査を行った場所だけで、それ以外の場所については、あまり研究が進んでいない状況です。

そこで、腰岳全体の価値を再確認するため、九州を中心とした石器や岩石学の研究者が集まって調査が始まっています。黒曜石のできる



↑腰岳山ろくを歩いて調査するメンバー